

令和7年度 民間提案型官民連携モデリング事業  
【グリーン社会の実現 調査テーマ3-B】

# グリーンインフラ（GI）に関する 官民連携の包括管理・運営サービス

## 最終報告会

応募団体名 : 株式会社 建設技術研究所

導入検討先自治体 : 東京都 杉並区

協力団体名 : 株式会社 Groove Designs

株式会社 ハビタ

東京カートグラフィック 株式会社

一般社団法人 風致

# 1. 自治体の課題と本調査の目的

## □ 杉並区が抱える課題と本調査の目的

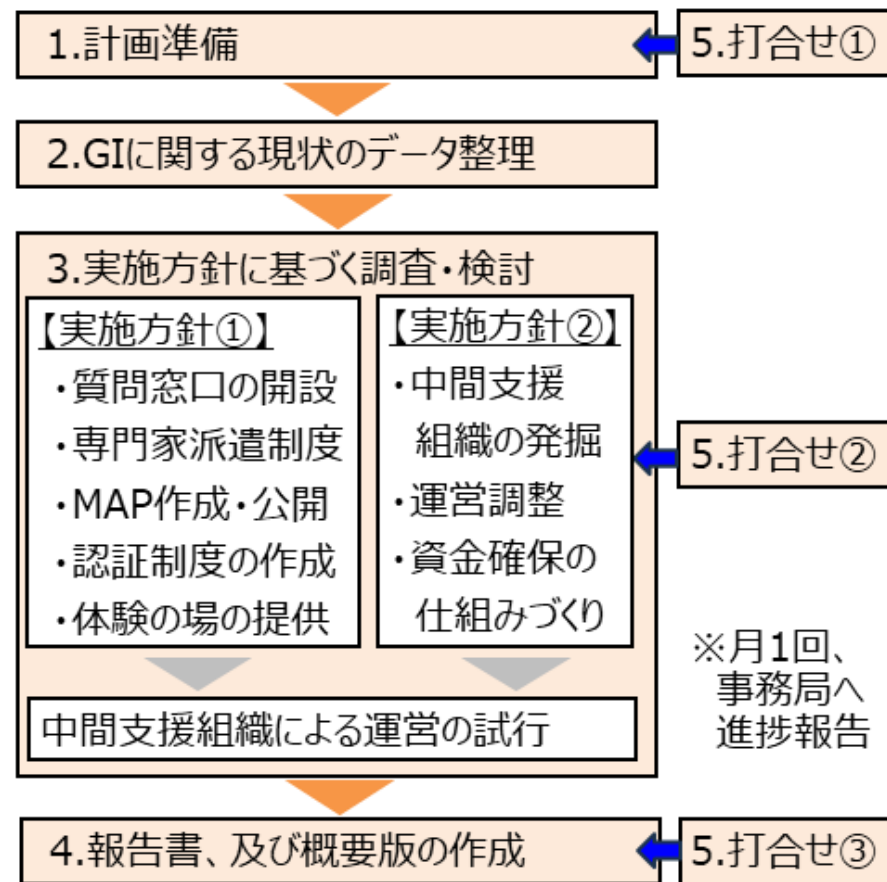
### 【杉並区の課題】

- 宅地が大部分を占める杉並区でGIを推進するためには、**区民の主体的な関わりや協働が必要**
- 区民が必要な情報を得ようとした場合、GIは**関連情報が多岐に亘るため、すぐに入手できない**ことが課題
- さらに杉並区が問い合わせを受けた際、**人員不足や公平性の観点から迅速・的確な回答ができない**ことも課題。**団体間の横の繋がりも生まれにくい**

### 【実施目的】

本調査は、**一元的な情報基盤整備（場づくり）**、**官民・団体間の連携の橋渡し役となる中間支援組織づくり**を検討することを目的とした。

## □ 業務の実施フロー



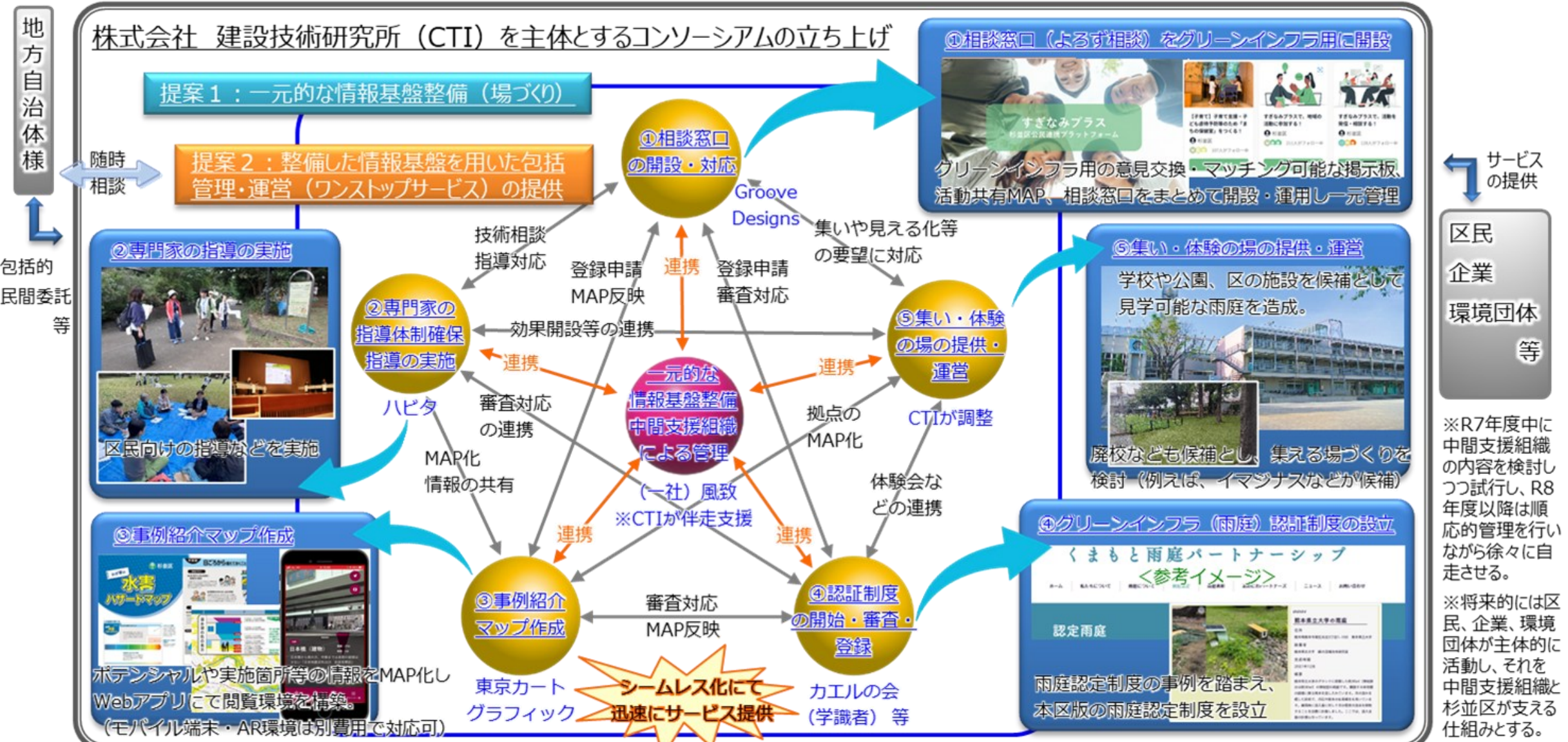
※令和8年度は本検討・試行結果を踏まえて、中間支援組織の仕組みを検討し、実装を目指します。

# 2. 民間からの提案内容

## 【課題解決に向けた提案概要】

- ①一元的な情報基盤整備（場づくり）
- ②情報基盤を用いた中間支援組織の試行によるGI推進

◆提案するスキームの概念図



※R7年度中に中間支援組織の内容を検討しつつ試行し、R8年度以降は順応的管理を行いながら徐々に自走させる。

※将来的には区民、企業、環境団体が主体的に活動し、それを中間支援組織と杉並区が支える仕組みとする。

## 【具体的な検討内容①：一元的な情報基盤整備】

項目	実施概要	成果・課題
<p><b>(1) 相談窓口の開設</b></p> <p>グリーンインフラ用の意見交換・マッチング可能な掲示板、活動共有MAP、相談窓口をまとめて開設・運用し一元管理していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月27日にすぎなみプラスに「地域のグリーンインフラの輪を広げよう」を開設した。</li> <li>・記事を投稿し、GIの紹介を開始した。</li> <li>・個別相談窓口を設けて、相談5件を受けた。そのうち4件に対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すぎなみプラスを活用したWEB上での相談窓口を開設した。</li> <li>・フォロー登録者数：175人（1/8時点）</li> <li>・期間限定のため2月19日で閉鎖とした。</li> </ul>
<p><b>(2) 専門家派遣制度の検討</b></p> <p>相談窓口への問い合わせに対する技術相談や指導対応のほか、区民向けの指導などを実施する制度を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIに必要な専門知識ごとに連携する専門家リストを作成。</li> <li>・相談に対応できるようヒアリングシートを作成</li> <li>・現場を引き継げるようカルテの作成も検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家リストを作成した。</li> <li>・相談窓口のヒアリングシート、事例カルテ、メンテナンスチェック事項などの整理と様式化を行った。</li> </ul>
<p><b>(3) MAP作成・公開</b></p> <p>雨庭ポテンシャルや実施箇所等の情報をMAP化しWebアプリで閲覧できる環境を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Googlemapを活用してMAPを制作。</li> <li>・基盤情報として、地形、流域界、浸水実績、浸水想定ハザードマップの状況を掲載し、その上にGIの事例を解説付きで表示できるようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIの広がり事例数で見える化すること、実施しようとしたときに参考となる事例を確認できること、雨水の流れや地形から雨庭の適地を検討できるマップを作成した。</li> <li>・事例の追加などがしやすいマップとした。</li> </ul>
<p><b>(4) 認証制度の作成</b></p> <p>雨庭認定制度の事例を踏まえ、杉並区版の雨庭認定制度を設立する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認証制度を行うには事例数が少なく、杉並区だけの認証制度では効果も低くなると考え、GIを広げることを念頭に登録制度とした。</li> <li>・登録時にランクをつけて、ランクに応じたなみすけステッカーを配布する仕組みとした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録制度の考え方を整理し、実施の手順なども整理。</li> <li>・インフラの場だけでなく、人の登録も追加し、ネットワークの形成を図れるものとした。</li> <li>・ただし、区での制度の立ち上げは困難 ⇒官民連携などでの対応が必要となる。</li> </ul>
<p><b>(5) 体験の場の提供</b></p> <p>学校や公園、区の施設を候補として見学可能な雨庭を造成。廃校なども候補として、集える場づくりを検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンインフラを体験して理解をしてもらえる場として、善福寺川発見（10/19）と青空ワークショップ（12/6）を企画、開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸透実験により、地面の浸透の違いを体感して理解していただくことができた。</li> <li>・来園者に向けて、豪雨による浸水や合流式下水道の課題を伝え、雨庭のメンテナンスを体験していただくことができた。</li> </ul>

# (1) 相談窓口の開設

- ・サイトの選択：杉並区では、すでに区民発信の情報共有サイト「すぎなみプラス」が運用されていた。  
これを使うことで認知があり、かつ区民の中間支援組織による運用・管理が可能と考えた。 ⇒採用
- ・サイトの機能：相談窓口のほか、情報発信、グリーンインフラMAPなどを全て集約。 ⇒情報の一元管理を達成！
- ・運用結果（半年）：フォロワー：209人 関心がある人：946人 <https://mygroove.city/organizations/11/projects/79>

## 【成果】

すぎなみプラス

すぎなみプラス  
杉並区公民連携プラットフォーム

946人が関心を持っています!  
1,000人目の訪問者まで、あと少し!  
あなたの関心を教えてください!

フォロワー  
209人がフォロー中

フォロー中

my groove

杉並区 > [すぎなみプラス](#) > 地域のグリーンインフラの輪を広げよう!

フォロー中

地域のグリーンインフラの輪を広げよう!

地域のグリーンインフラの輪を広げよう!

地域のグリーンインフラの輪を広げよう!

- 記事 2026-02-27  
【活動報告】プロジェクト終了と今後 | 杉並グリーンインフ...  
閲覧数: 44
- 記事 2026-01-15  
「杉並区グリーンインフラMAP」を作成しました。  
**GIマップ**  
閲覧数: 148
- 記事 2025-12-17  
あまみずが育む命と絆。済美小学校が挑んだ学校グリーンイ...  
閲覧数: 247
- 記事 2025-11-07  
Vol.4 柏の宮公園でグリーンインフラ体験ワークショップを開...  
**体験の場イベント**  
閲覧数: 184
- 記事 2025-10-27  
Vol.3【開催レポート】善福寺川発見2025を開催しました!  
閲覧数: 137
- 記事 2025-10-17  
Vol.2「すぎなみグリーンインフラ相談ひろば」とは?  
閲覧数: 162
- 記事 2025-10-17  
Vol.1 このプロジェクトについて  
**情報発信**  
閲覧数: 263
- 意見募集 募集終了 2025-10-17  
【ちよこっと質問】グリーンインフラについて質問したいことはありますか?  
6か月前 **相談窓口①**  
ご意見ありがとうございます。わたし達も同じ様に考えています! グリー...  
意見: 10
- 協力募集 募集終了 2025-10-17  
【しっかり相談窓口】グリーンインフラについて専門家への相談フォーム  
**相談窓口②**  
協力者: 6

# (1) 相談窓口の開設

- ・相談窓口：気軽に相談できる【ちょこっと質問】、専門家に相談できる【しっかり相談】を開設

## 相談窓口(ライトで気軽な相談)

- ✓ 素朴な疑問、今更聞けない質問、思いつきの質問など
- ✓ 匿名を認めた掲示板にて、とにかく興味人口を増やす

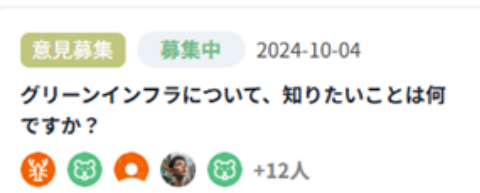
意見募集機能を活用。

気になったことを聞いたり、情報を得る目的で見もらう。

⇒個人情報はいれないようにしてもらう必要あり。

⇒コメントへの対応など、ファシリテートは工夫が必要。

※意見募集機能を使う場合、写真投稿も対応可能。



## 【課題】

- ・荒しへの対応、書き込みに対して迅速に第一報を回答する体制づくりが必要。
- ・問い合わせに対して、アドバイスや施工を行うことで費用が生じた場合は営利利用となる。
- ・中間支援組織の資金確保策としては推奨したい取組の一つ。
- ・一方、すぎなみプラスは営利利用ができないため、この場合は区との契約関係にない別サイトを準備する必要がある。

## 相談窓口(しっかり具体的な相談)

- ✓ 本気でグリーンインフラ（雨庭）を導入したい人
- ✓ フォームにて実名、メールアドレスでの具体的な問合せに対応

個人情報も含めてもらいながら、個別に相談対応。

⇒協力募集機能の場合、簡易的なフォーム設定が可能だが、my groove登録が必要。

(申し込み管理・本人によるキャンセルも可能)

⇒いろいろと確認項目を作っておきたい場合は、Googleフォームを記事からリンク可能。

※協力募集機能で作れるフォーム項目

- ・団体・組織名を入れてもらう欄
  - ・電話番号入力欄
  - ・選択式アンケート(※1種類のみ。複数選択可)
  - ・コメント入力欄
- ⇒登録時に、メールアドレス、氏名、性別、年代、居住エリア(郵便番号)は取得済み。



# (3) MAP作成・公開

- ・運用しやすいように、**フリーのGooglemap**を活用してMAPを制作。
- ・どこに造成すべきか、**効果的な場所**がわかるように**必要情報**を地形、流域界、浸水実績、浸水想定ハザードマップの状況を**マップ上に掲載**し、その上に先行して造成された**GI事例**を解説付きで表示できるようにした。
- ・区民自身の**取組発信アピール**、**後続者が先行事例**を見て学べるように、**造成した雨庭**を**随時追加**できるようにした。

## 【成果】

<https://www.google.com/maps/d/edit?mid=15Htorx4Dy9QViTwt0eKo1Nth5PaLd3Q&usp=sharing>

杉並区グリーンイン...  
杉並区グリーンインフラマップ

【出典情報】

- ・浸水予想区域図：東京都建設局「浸水予想区域図」を加工して作成（原資料：CC BY 4.0 <https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>）
- ・浸水被害箇所（S56～）：東京都「水害記録資料集 浸水実績図データ」を加工して作成（原資料：CC BY 4.0 <https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>）
- ・浸水被害箇所（S56～）
- ・流域界
- ・河川
- ・標高段彩（北部）

表示回数 458 回  
公開: 2025年12月2日

杉並区グリーンイン...  
杉並区グリーンインフラマップ

【出典情報】

- ・浸水予想区域図：東京都建設局「浸水予想区域図」を加工して作成（原資料：CC BY 4.0 <https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>）
- ・浸水被害箇所（S56～）
- ・流域界
- ・河川
- ・標高段彩（北部）

表示回数 458 回  
公開: 2025年12月2日

区立柏の宮公園 雨庭 2 (トイレ裏)

事例名  
区立柏の宮公園 雨庭 2 (トイレ裏)

分野  
雨庭

コメント  
市民ワークショップ

場所  
〒168-0065 杉並区浜田山2丁目5番1号

行政区  
杉並区

公園の可否  
可

学校の可否  
可

緯度  
139.6258736

経度  
35.6776461

## 【課題】

### <システム>

- ・Googlemapを活用すると**レイヤーが10に限定**される

### <運用>

- ・**更新をタイミングよく実施**して活用していく**必要がある**。  
⇒運用を区から**中間支援組織**などへ委託することで**更新頻度を上げる**ことが必要。  
**登録制度**とも連動させて、**更新頻度を維持**しながら運用させることが必要。

## (4) 認証制度の作成

- ・ 認証制度を行う際、事例数が少ないと形骸化する恐れがある。杉並区のみ認証制度では事例数が少なく、インセンティブの効果も低くなると考えられ、検討の結果、今回はGIを広く普及させることを念頭においた「登録制度」とした。
- ・ 登録時の付加機能数でのランクに応じ、人気のある「なみすけ」のステッカーを配布する仕組みを検討した。

### 【成果】

#### ◆登録方法

##### ①【申請者】登録申請フォームから申し込み

- ・ 申請者情報 氏名、連絡先
- ・ 申請内容 事例マップの掲載に必要な情報を網羅する  
名称、分類（雨庭、ビオトープ、そのほか）、所在地、写真、  
何を実施しているのかを説明するコメント、チェックリスト（申請者がチェックする）

風致HPなどに  
登録フォームを設ける

##### ②【風致】チェックリストの確認

⇒現地確認の必要性を判断 ⇒必要なければ④登録へ

丁寧に  
対応して  
実績をつくり  
信頼を得る

##### ③【風致】現地確認

⇒実施内容を確認 ⇒技術的な指導などが必要 ⇒アドバイス、専門家派遣などを実施し、再確認する。  
⇒ // 必要なし ⇒④登録へ

##### ④【風致】登録

⇒登録リストへ追加  
ネットワーク：メーリングリスト、会員のみ入れるLINEグループのようなものをつくる？

##### ⑤事例マップへ掲載の可否を確認

⇒掲載する場合は事例マップへ追加

#### GI機能 申請時のチェックリスト案

##### 【雨庭版（場の登録）】14項目 更新時+1項目

1. 雨水タンクを設置している
2. 雨水を水を植物・生物の生育に活用している（プランターでもOK）
3. 雨水を浸透させている（プランターでもOK）
4. 生き物の棲みをつくっている（プランターでもOK）
5. 実際に生き物が生息している（プランターでもOK）
6. 水質浄化の機能がある
7. 人々の憩いの場となっている
8. 樹木などがあり夏場涼しく感じる
9. 自然な景観を形成している
10. 管理をする人、または活動をしている人がいる
11. 地域活性に活用できている
12. エコロジカルネットワークを意識してつくっている
13. ある程度の規模を持って水辺の環境を創出、再生している
14. 屋敷林や畑など、広い面積の雨水浸透エリアを維持管理している
15. [更新時のみ] メンテナンスをして上記の申請時の機能が維持されている

3段階のランク付け  
レベル1：1～3個該当  
レベル2：4～7個該当  
レベル3：7以上個該当



### 【課題】

- ・ 区民のやる気に繋がるようにプレミアムステッカーの作成、事例マップでの周知を具体化を進めていく
- ・ ただし、ステッカーの転売規制、事例マップへの登録可否の管理を踏まえた運用化を進めることが必要
- ・ 造成後も機能が続くよう維持管理を登録条件に加え、事例マップに更新情報をアップし、管理する仕組みが必要
- ・ お手入れ方法の情報配信、交流の場の提供により、登録者が楽しみながら維持管理を継続できる仕掛けが必要

## (5) 体験の場の提供

- ・情報共有の場（インターネットの仮想空間）だけでは、造成方法や効果を体感できず理解しにくい恐れがある。
- ・そのため、実際に雨庭の造成を体験し、グリーンインフラの理解を深められるようにリアルな場も提供した。
- ・善福寺川発見（10/19）と青空ワークショップ（12/6）を企画、開催した。

- 【成果】**
- ・誰でも参加でき、かつ後日、復習に訪れることも可能な公共空間が良いと考え、公園でのイベントを開催。
  - ・学校や相談窓口からの問合せで造成することとなった場合は、適宜体験の場としての取組が可能なかを相談。

12月6日(土) 11:00~16:00 小雨 決行

# グリーンインフラ あおぞらワークショップ

地域のグリーンインフラの輪を広げよう「体験の場」シリーズ

場所 柏の宮公園 杉並区浜田山5丁目2-1

「グリーンインフラ」とは、自然が持つ多様な機能を活用し、環境や防災、福祉、経済など、さまざまな社会課題の解決方法です。昆虫、鳥、小動物などの多様な生き物に餌や隠れ家を提供し、都市の生態系ネットワークを豊かにするという主要な目的に加え、雨水を貯留・浸透させることで従来の治水を補いながら浸水被害の軽減にも貢献します。水が土に浸み込む能力を測る浸透実験や、雨庭のメンテナンスの体験などを通して、グリーンインフラに触れてみませんか？

あめにわ「雨庭メンテナンス」体験

昨年、区民のみならず作った柏の宮公園前庭のメンテナンスを行いました。実感を伴ったため、維持管理は雨庭にとって大切な作業になります。この機会にぜひ体験してみませんか？「雨庭のしくみ」が分かりますよ。

※「草地広場」の受付までご連絡ください。

お散歩がてらおひとりでも、親子でも、お気軽に!!

お問い合わせ: info@fuchi.or.jp

2025年12月6日(土) 11:00~16:00  
地域のグリーンインフラの輪を広げよう「体験の場」シリーズ  
グリーンインフラあおぞらワークショップ

【場所】杉並区立柏の宮公園  
【主催】一般社団法人 風敷  
【協力】杉並区都市整備部管理課・株式会社 建設技術研究所・株式会社 ハビタ

タイムスケジュール
10:00 スタッフ集合 設営開始
10:50 打ち合わせ
11:00 雨庭メンテナンス作業開始
打ち合わせ時に参加希望者が来たためメンテナンス開始
臨時タイミングをみて前回設置した雨庭の浸透実験
雨庭メンテ・2箇所（草地広場内通路・遊具の近くの植栽側）
テントにて掲示物を拝見しながらの普及活動
15:30 撤収開始
16:00 反省会・終了

雨庭メンテナンス参加者	テント&展示に立ち寄った来場者
GIAS: 2名	大人: 12名
来賓者	近隣の住民の人が多く寄りかかり、話を聞いてくれたことが多かった。
大人: 19名	区の方の顔に安心感を感じた人が多く、説明を真剣に聞いてくれた人がほとんどであった。
子ども: 10名	「ししべ」にも興味のある方が観察して、音波が土の層の情報を伝えている。
合計 31名	
浸透実験参加者	来賓者の感想とコメント抜粋
一般参加者: 0名	・グリーンインフラを学ぶ機会、機会はあるの？
備考	・自然系下水道ということを知った。
イベントに訪れた方を交えながら、メンテナンスの実践は随分と大変であった。	・雨庭でむかし遊んでた。生き物とつながった。(86歳)
	・雨庭に馴染みがある。
	・区を取り組み（区民の声を聞く活動が盛ん）であること、ひいては水害を抑えられること、川の環境保全に役立つことなどの説明を聞きながら興味を示している保護者の様子も印象的であった。
	特に大人の方の区民の取り組みに関心が高い人が多かった。

【実施状況】  
晴れのち曇りの天気であり、気温が低く、公園への来場者が少なかったが、予想より多くの来賓者に参加していただいた。中でも、展示に興味を示す方や遠くから見てのりやりに参加してくれたところ、熱心な説明を聞いてくれる方も色々な質問が出た。小さいお子さん連れの親子連れも土壌を触りたい！スコップを土を掘りたい！というところから、雨庭作りに興味を持ってもらえるケースが数回あった（特にお父さんとお子さんのコンビが多かった）。子どもも最後までちゃんと完成させることができている。

地盤に雨水を浸透させるという概念がない人が多い中、川への負担が軽減すること、ひいては水害を抑えられること、川の環境保全に役立つことなどの説明を聞きながら興味を示している保護者の様子も印象的であった。

特に大人の方の区民の取り組みに関心が高い人が多かった。

【今後の活動として】  
市民連携事業として行なったため、都市型管理課の協力のもと GIAS（青年メンバー）に呼びかけながらメンテナンス作業を実施することができた。1年前に設置した雨庭は浸透能力が少なくなっている箇所もあった為、メンテナンス時期、作業方法は再考が必要。今回の雨庭（浸透部分）は、面積40cmに限定してしたが、その効果を検証しながら今後の活動実施について検討していきたい。



## 【課題】

- ・ターゲットを見据えた体験の場の設定が必要。
- ・区民に広く参加の機会を提供できるように、区内の様々な地区での展開が必要。
- ・開催箇所や回数の増加に伴い運営体制の強化が必要。  
⇒ 指導できるスタッフの育成  
⇒ 登録制度「あめにわのわ」メンバーの参画と連携
- ・運営体制の強化にあたり、GIの思想や杉並区の課題や現状の理解を促す研修会の開催も必要。

## 【具体的な検討内容②：包括管理・運営の提供】

項目	実施概要	成果・課題
<p><b>(1) 中間支援組織の発掘</b>            中間支援組織に求められる役割や能力をもとに団体を選定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R7.3作成の杉並区グリーンインフラビジョンをもとに、中間支援組織に求められる役割や能力を整理した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ GIへの理解が深く、地域や専門家とのネットワークもある組織として、「一般社団法人風致」を発掘し、連携した。</li> <li>・ 中間支援組織とともに杉並区のグリーンインフラの定義、キャッチフレーズを検討して設定した。</li> </ul>
<p><b>(2) 運営調整</b>            実施方針①の検討内容、及び中間支援の発掘結果を踏まえ、中間支援組織による運営の試行を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本検討全般の調整。</li> <li>・ 相談窓口開設、体験の場、その他の議論等を重ね、中間支援組織による運営を試行した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画した内容について試行した。</li> <li>・ 一部、更なる課題が残り、今後対応していく必要がある。</li> </ul>
<p><b>(3) 資金確保の仕組みづくり</b>            中間支援組織としての活動を行うための資金確保の仕組みを検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資金確保（案）の提案、協議を行った。</li> <li>・ 中間支援組織の役割を果たすための資金確保、今回連携している風致単体のビジネスプランについて議論。</li> <li>・ 専門家派遣費用、相談窓口の対応など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間支援組織として、専門家派遣、相談窓口の対応で対価を得ることや、研修会、スタディツアーの企画運営で参加費を得ることを想定。</li> </ul>

# (1) 中間支援組織の発掘 (2) 運営調整

- ・ R7.3作成の杉並区グリーンインフラビジョンをもとに、**中間支援組織に求められる役割や能力を整理。**
- ・ 候補となる団体を区の登録団体やグリーンインフラネットワークジャパン登録団体から整理し、**相応しい団体を選定 … (一社) 風致**
- ・ 風致とともに**杉並区のグリーンインフラの定義、キャッチフレーズを検討して設定した。**
- ・ **中間支援組織による運営の試行**として、相談窓口開設、体験の場、その他の運営方法などを具体的に検討した。

## 【成果】

### □ 杉並区のGI推進に求められる中間支援組織の能力

過年度に区民で話し合ったGIビジョン



- ・ 専門性を有する
- ・ 機動力を有する
- ・ 人材ネットワークを有する
- ・ 地域性を有する
- ・ 関係者をめざすビジョンに誘導し束ねる力

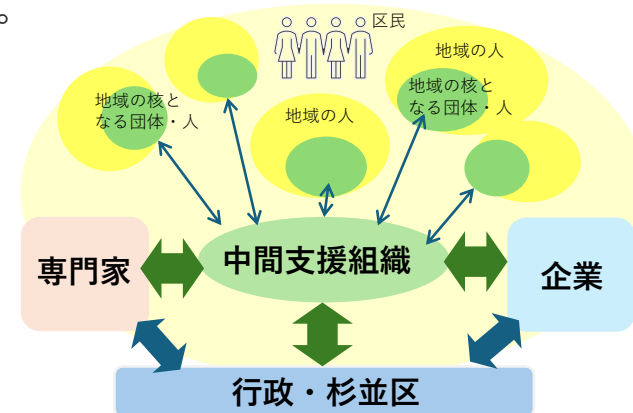
 Nature Positive  
一般社団法人 風致

トップ コンセプト 活動記録



### □ 検討内容①の運営を実際に試行

- ・ 区と民間で連携することでお互いを補完できることがわかった。
- ①区が入ることで相談窓口の信頼度を確保できた。
- ②風致が間に入ることでかみ砕いてGIを説明でき、区民と行政の橋渡しができた。



## 【課題】

- ・ 今期、試行してみた課題について、改善案を検討し、継続的に試行することで、仕組みを作り上げていく必要がある。
- ・ 今後、複数の団体を束ねる役割を担い、コーディネートを行う際には中立性が求められる。

### (3) 資金確保の仕組みづくり

- ・ 資金確保（案）の提案、協議を行った。
- ・ 中間支援組織の役割を果たすための資金確保、今回連携している風致単体の収益確保策について議論。
- ・ 専門家派遣費用、相談窓口の対応などで対価を得る仕組みを検討。

#### 【成果】

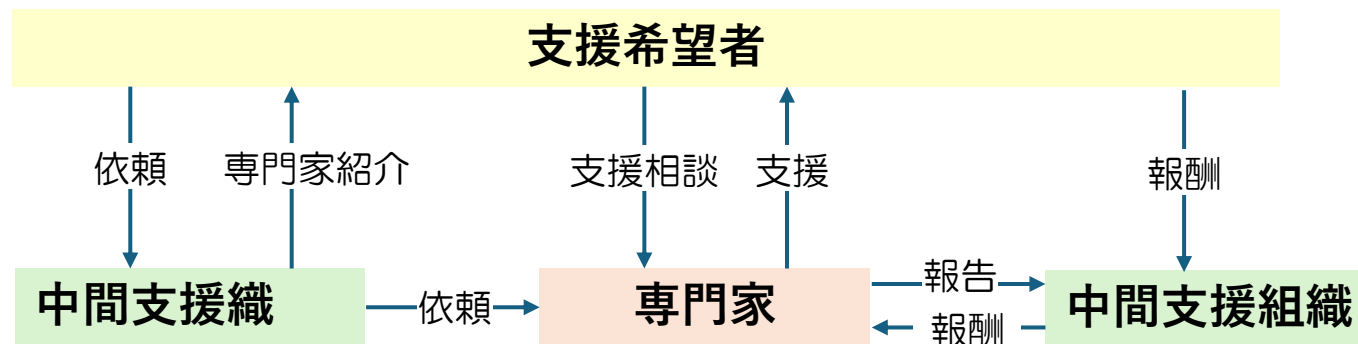
資金の確保は多様なルートを持つことが必要。

- ・ 創業支援 助成金の申請
- ・ 専門家との連携  
(専門家派遣)
- ・ 個別の相談・依頼
- ・ 杉並区との連携事業 など

#### 【課題】

- ・ 中間支援組織の活動の範囲内で、固定して得られる収入源を探し、確立させる必要がある。

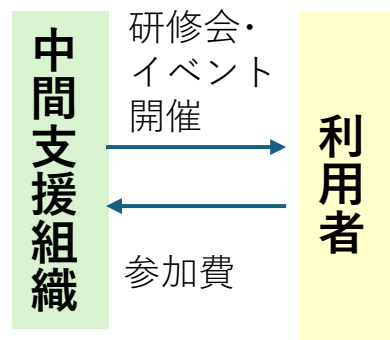
#### 相談窓口への対応・専門家の派遣



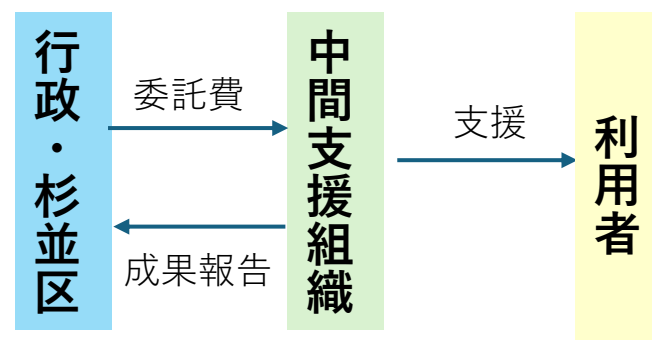
手順

#### 活動収入

研修会・イベント・スタディツアー



#### 業務委託



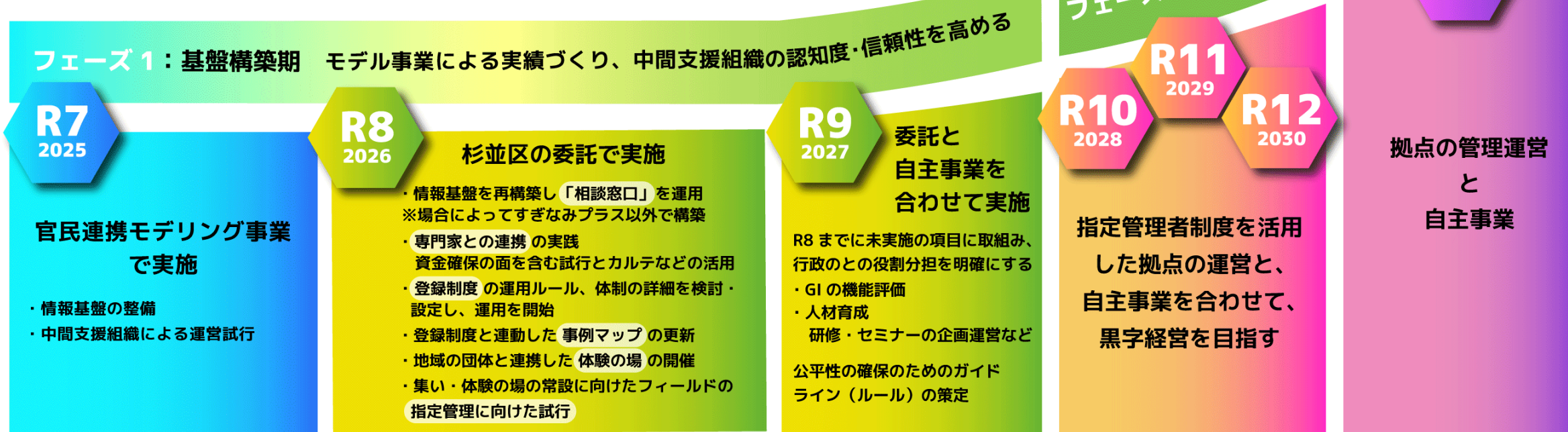
#### その他

- ・ 補助金・助成金（初期）
- ・ クラウドファンディング（単発のイベントなど）
- ・ 寄付
- ・ 物品販売（製品開発）など

# 3. 今後の事業展開

## □ 事業化に向けたスケジュール（案）

- ・ R7年度は本モデリング事業にて実施
- ・ R8～R9年度は自治体からの委託とともに仕組化を行う
- ・ R10年度以降、フェーズ2として自立を目指す



初動支援期

プラットフォーム形成期

# 4.他自治体等への横展開にあたってのポイント

項目	課題	ポイント
<p><b>1 (1) 相談窓口の開設</b></p> <p>グリーンインフラ用の意見交換・マッチング可能な掲示板、活動共有MAP、相談窓口をまとめて開設・運用し一元管理していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間支援組織が窓口を担う場合には、組織の信頼度が必要</li> <li>・ 存在を効率的に知らせるための広報が必要</li> <li>・ 相談内容は区民の理解度によって異なるため気軽な相談と専門的な相談の窓口が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治体名を出して連携していることを示す。 ※杉並区の場合、既存の仕組みである「すぎなみプラス」の活用により区との連携を示せた。</li> <li>・ 区のLINEを用いることで効率的な広報が可能。</li> <li>・ 気軽に聞ける相談窓口（誰でも見られる掲示板対応）としっかり相談窓口（詳細情報をやりとりするメール対応）の使い分けが効果的。</li> </ul>
<p><b>1 (2) 専門家派遣制度の検討</b></p> <p>相談窓口への問い合わせに対する技術相談や指導対応のほか、区民向けの指導などを実施する制度を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々なGI機能の分野に合致した専門家のリストアップが必要</li> <li>・ スムーズな派遣・協力のためには中間支援組織と専門家との連携の仕組みが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あらかじめ想定されるGI分野と、それぞれについて専門家を地域で抽出すると連携しやすい。</li> <li>・ 中間支援組織が、すでに地域の専門家と繋がりをもった団体であるとスムーズ。※地域で活動する複数の団体で共創する方法もある。</li> </ul>
<p><b>1 (3) MAP作成・公開</b></p> <p>ポテンシャルや実施箇所等の情報をMAP化しWebアプリにて閲覧環境を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普及のため、ネット上に公開することでいつでもどこでも確認できる仕組みが必要。</li> <li>・ 手軽に更新できる仕組みが必要。</li> <li>・ 閲覧者が見たい情報を選べる仕組みが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Googlemapを利用することで対応が可能。 ※GISオンラインソフトもあるが高額</li> <li>・ ただし、Googlemapの場合、レイヤー数の制限があるため、掲載情報を絞り込むことが必要。</li> </ul>
<p><b>1 (4) 認証制度の作成</b></p> <p>雨庭認定制度の事例を踏まえ、杉並区版の雨庭認定制度を設立する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認証制度の目的、認証を与える組織、認証のための審査条件・技術の整備検討が必要。</li> <li>・ 金銭的な優遇などの取組意欲を醸成するためのインセンティブの検討が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本調査では認証は時期尚早と判断したが、GIを広めるためには登録制度も有効な方法の一つ。</li> <li>・ 認証制度がないと金銭的な優遇は困難。</li> <li>・ GIマップに公開することでの承認欲求、ゆるキャラ等のレアグッズの提供は登録制度でも可。</li> </ul>
<p><b>1 (5) 体験の場の提供</b></p> <p>学校や公園、区の施設を候補として見学可能な雨庭を造成。廃校なども候補として、集える場づくりを検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 造成体験したり、既に造成された雨庭を見て学べる場の提供が必要。</li> <li>・ 様々な人がいつでも行けることが必要。</li> <li>・ その場を見て理解してもらうための仕組みづくりが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつでもアクセスし、見て、触れられる場として公園などの公共の場に設けることが有効。</li> <li>・ GIの機能や作り方を説明する仕組みとして、GIマップにて情報を掲載するほか、中間支援組織による体験イベントの企画開催が効果的。</li> </ul>

# 4.他自治体等への横展開にあたってのポイント

項目	課題	ポイント
<p><b>2 (1) 中間支援組織の発掘</b>            中間支援組織に求められる役割や能力をもとに団体を選定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIの知見と地域の将来ビジョンを理解し、下記のような能力を有する団体の発掘が必要。(専門性、機動力、人材ネットワーク、地域性関係者を目指すビジョンに誘導し束ねる力)</li> <li>※ただし、求める機能は自治体ごとに要設定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体や地域のGIビジョンに応じて中間支援組織に求める条件が異なるため、まずは求める条件を整理することが必要。</li> <li>そのうえで、自治体に登録している市民団体やグリーンインフラネットワークジャパンへの参加団体などを検索すると見つけ易い。</li> </ul>
<p><b>2 (2) 運営調整</b>            実施方針①の検討内容、中間支援組織の発掘結果を踏まえ、中間支援組織による運営の試行をサポートする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中間支援組織の立ち上げにおいては、支援の仕組みを検討できる伴走者が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回は、本モデリング事業として実施することができた。</li> <li>このように、立ち上げ期においては「支援検討業務」を委託できると効果的。</li> </ul>
<p><b>2 (3) 資金確保の仕組みづくり</b>            中間支援組織としての活動を行うための資金の仕組みを検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中間支援組織が担う役割に応じて、活動資金を確保する仕組みが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1つの財源ではなく、複数の財源ルートを確保しておくことが必要。</li> <li>行政からの委託も財源確保の1つ</li> <li>ただし、公費にも限界があるため、自立していけるように講師謝金、派遣費用、グッズ販売、指定管理業務、認証登録費、造成に伴う民間委託契約などを狙うことが効果的。</li> </ul>
<p><b>2 (4) 中間支援組織による運営試行</b>            ・中間支援組織が構築した情報基盤の管理・運営を担い、相談窓口や体験の場の提供などを試行する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体の役割、中間支援組織の役割などを明確にしておくことが必要。</li> <li>そのうえで、中間支援組織の必要性を整理するとともに、それぞれの強みを活かした連携の仕組みづくりが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体の強み・弱み、中間支援組織の強み・弱みを整理し、中間支援組織の必要性を再整理することが必要。</li> <li>例えば、自治体は信用がある、中間支援組織は専門知識と専門家同士のネットワークがある。これらを活かした協働運用が効果的。</li> </ul>

# 5.自治体から検討成果の活用に向けた予定、所感

## 検討成果の活用に向けて

### ● 相談窓口

相談窓口については、行政と区民の間のコミュニケーションを円滑にする「翻訳者」として中間支援組織が機能しており、各ケースに応じて区民に分かりやすく情報を伝えることができていた。そのため、引き続き試行していきたい。また、相談内容の蓄積を図るため、令和8年度においても実施していく予定。

### ● 専門家派遣

相談窓口への相談を契機として専門家派遣を実施した結果、和田小学校における雨庭・ビオトープづくりが実現した。専門家と連携することで、雨水タンクや雨庭の材料を迷うことなく準備できたほか、施工方法についても助言を受けることができ、児童とともに雨庭を整備することができた。今後もこうした事例を蓄積しながらグリーンインフラの取組を推進していくため、引き続き試行していきたい。

### ● GIマップ

GIマップを作成したことで、地図上でグリーンインフラの情報を可視化することができ、情報基盤の一つが形になったと感じている。一方で、掲載している情報はまだ十分とは言えないため、今後は相談窓口で得られた相談内容や解決策等を整理し、マップ上に随時反映していきたい。

# 5.自治体から検討成果の活用に向けた予定、所感

## 検討成果の活用に向けて

### ● 体験型イベント開催

今回の体験型イベントでは、雨庭の維持管理をイベント形式で実施したことで、公園利用者が「やってみたい」と感じるきっかけとなり、グリーンインフラを知らない方にも参加・体験してもらうことができた。グリーンインフラを推進していく上で、維持管理は各所で共通する課題であり、本取組はその解決に向けた有効な手法であると考えられる。今後も手法を検討しながら、引き続き実施していきたい。

### ● 認証制度

認証制度の実施に向けて必要な課題を整理できたことは、大きな成果であると感じている。一方で、制度導入に向けては、まずグリーンインフラの取組を区民に広く知ってもらい、相談窓口等の活用を通じて取組事例を増やしていくことが重要である。そのうえで、登録制度を含め、改めて制度の在り方を検討していきたいと考えている。

### 全体を通じて

今回の検討を通じて、区としての情報基盤の在り方が明確になったことが成果であると考えている。一定の工夫を加えることで、他自治体においても展開可能な取組であると感じている。区としては、令和8年度以降も引き続き検討を進めていく考えであり、検討成果や取組状況については、ホームページ等を通じて情報発信していきたい。